



第**116**期 株主通信
2016年4月1日 ▶ 2017年3月31日

さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト「マッスルモンスター」



富士急行株式会社

証券コード：9010

ド・ドドンパ

2017年7月15日(土)
開業

世界最大級ループ、
完成
さらなる加速、
さらなる速さへの挑戦

※アメリカのギネス記録取得ループ直径38.75m超え自社調べ



CONTENTS

ごあいさつ	1	事業別概況	8
FUJI-Q TOPICS (Year In Review)	2	連結財務諸表	10
FUJI-Q News	4	単独財務諸表	12
		会社概況／株式情報	14
		単元未満株式の買取・買増制度のご案内	15
		株主優待のご案内	16



株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第116期におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策などを背景に、雇用及び所得環境に改善がみられたものの、個人消費の回復は鈍く、インバウンド消費の減速や海外の政治情勢の不確実性などから、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは運輸、不動産、レジャー・サービス、その他の各事業にわたり積極的な営業活動と経営の効率化に努めてまいりました。その結果、夏季シーズンの天候不順などの影響もあり、当期営業収益は508億80百万円（対前期98.3%）、営業利益は48億59百万円（対前期89.6%）、経常利益は44億4百万円（対前期91.8%）、親会社株主に帰属する当期純利益は26億31百万円（対前期112.2%）となりました。

当期における各事業の具体的な取り組みは、8ページ以降に記載しておりますので、ご高覧くださいますようお願い申し上げます。

今後の当社グループを取り巻く事業環境は、東京オリンピック・パラリンピック関連の設備投資の増加などが期待されるものの、海外の政治・経済情勢の不確実性や国内での人手不足による人件費上昇圧力の高まりなど、引き続き不透明な状況が続くものと考えられます。

こうした状況の中、第四次中期経営計画「Integrated『Greater富士山』戦略」の最終年度にあたる平成29年度におきましては、富士山エリアの魅力を発信するとともに、当社の強みである観光資源と交通機関を一体的に結びつけた商品・サービスを提供し、より多くのお客様に楽しんでいただけるエリアづくりをしてまいります。

運輸事業につきましては、鉄道事業では、車両更新にあわせた魅力ある列車づくりを行い、観光客を誘致するとともに、高校生以下の通学定期券の値下げをするなど、生活路線としての利便性向上も図ってまいります。バス事業では、引き続き富士五湖エリアを結ぶ高速バス路線の更なる輸送力の強化を図ってまいります。

不動産事業につきましては、山中湖畔別荘地・十里木高原別荘地でオリジナル商品の企画、販売、建築受注活動を継続するとともに、当社グループ施設や交通サービスとの連携を強化し、別荘地エリアの付加価値向上を図ってまいります。

レジャー・サービス事業につきましては、富士急ハイランドにおいて大型アトラクションのリニューアルや飲食・物販施設の拡充など、魅力あるエリアづくりを進めるとともに、少子高齢化とお客様のニーズの変化に対応してまいります。

深刻化している人手不足は、当社にとっても重要な課題であり、ITの活用を促進し、業務の合理化、効率化による生産性の向上を図るとともに、政府が推奨する「働き方改革」を実践し、人材の確保に努めてまいります。また、「女性活躍推進に向けた行動計画」に基づき、働き方の多様性に沿った人事制度に見直すとともに、企業内保育所「フジQキッズガーデン」を移転・拡充し、仕事と育児との両立支援や、女性が就労を継続し活躍できる雇用環境の整備を図ってまいります。

安全対策につきましては、引き続き「120%の安全」を最優先課題と位置づけ、徹底した安全管理に努めてまいります。さらに、コンプライアンスの徹底やコーポレートガバナンスの強化を図り、企業価値の向上に努めてまいります。

当社グループは、オリジナリティの高いハード、ソフトを生み出し、富士山エリアを世界的なリゾートエリアとしていくとともに、地域社会への貢献、自然環境への配慮など企業の社会的責任を果たし、お客様に「夢・喜び・やすらぎ・快適・感動」を提供するアメニティビジネスのリーディングカンパニーを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月
代表取締役社長 堀内 光一郎

当期のトピックス紹介

FUJI-Q TOPICS

Year In Review

■ 富士急行線「富士山ビュー特急」
運行開始



4月

■ 富士山・富士五湖を巡る
新たな周遊バス
「鳴沢・精進湖・本栖湖
周遊バス」運行開始



■ 富士本栖湖リゾート
「2016 富士芝桜まつり」
開催（～5月）



5月

■ 遊園地ぐりんぱ
「富士の裾野 天空のチューリップ
祭り 2016」
開催（～5月）



6月

■ 「富士 花めぐりの里」
開催（～10月）



7月

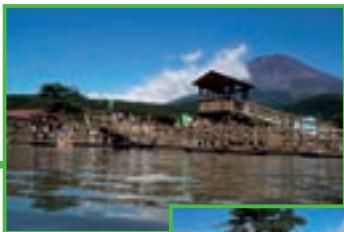
■ 遊園地ぐりんぱ
「富士山の裾野 天空の
ダリア祭り 2016」
開催（～10月）





遊園地ぐりんぱ

「カッパ大作戦」 オープン



さがみ湖リゾート

プレジャーフォレスト

「極楽パイロット」 オープン



安全性向上のため運転データ

集録システム搭載

「教育訓練車」 導入



8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

富士急ハイランド 「テンテコマイ」 オープン、

「富士飛行社」 リニューアルオープン



スイス マッターホルン・ゴットアルド鉄道

姉妹鉄道提携25周年記念

富士急行線 「マッターホルン号」 運行開始





神奈川県相模原市で展開するアミューズメントパーク「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」に平成29年3月、アジア初上陸の新アトラクション、鳥肌コロシム「マッスルモンスター」を開業いたしました。

◆マッスルモンスターの3つの魅力

マッスルモンスターはさがみ湖リゾート山頂の崖際で、大空に向かってそびえ立つ六角形の巨大建造物。3階層のアスレチックエリアと屋上展望台で構成される施設の中には、様々な魅力が詰まっています。

①92種類のアクティビティ

崖に向かって伸びる一本橋や空飛ぶ自転車など、見たこともない92種類のアクティビティが揃います。1日ではとても遊び尽くせません。

②崖に迫り出すアクティビティ

アクティビティの一部はあえて崖に迫り出すように配置しています。勇気を出して崖へと踏み出せば、空を翔ぶような絶景と、真下に落ちるような絶叫を同時に味わうことができます。

③絶景の展望台

5階建てのビルに相当する高さの展望台からの眺望は抜群で、遊園地を囲む山々や相模湖を一望することができます。天気が良ければ富士山が見えることも。展望台へは階段で簡単にアクセスすることができます。

富士急ハイランドまで徒歩1分のオフィシャルカプセルホテル 「キャビン&ラウンジ ハイランドステーション イン」 平成29年4月27日（木）に開業



このホテルは、富士山や富士急ハイランドを目的に国内外から訪れる個人旅行客の多様化するニーズに応えるべく、もっと気軽に利用できる快適な宿泊施設を提供したいとの思いから開業し、温かみのある木調を基本とした2階建ての館内には充実した設備を整えており、お一人様でも安心してご利用いただけるよう、1階を女性専用カプセルエリア（66床）、2階を男性専用カプセルエリア（88床）としております。



【主な特徴】

① 富士急ハイランドから徒歩1分、コンビニや居酒屋併設の好立地

富士急ハイランドから徒歩1分、富士急ハイランド駅もすぐというアクセス抜群の当ホテルには、コンビニエンスストアやファミリーレストラン、居酒屋、カラオケ、登山用品のレンタルショップといった様々な店舗が併設されており、とても便利です。



② 従来のカプセルホテルとは一線を画す広々とした個室

ご宿泊いただく個室は、横幅120cm×奥行210cm×高さ120cmと広く、カプセルホテルに特有の圧迫感をそれほど感じることなく過ごすことができます。また、各個室には電源コンセントやUSB電源、調光付照明も完備されています。



③ 1泊4,000~4,600円のリーズナブルな料金設定

ホテルの宿泊料金は、1泊4,000~4,600円（季節により変動あり）とてもリーズナブル。富士急ハイランドを朝一から満喫するための前乗り宿泊施設としても最適です。



④ 宿泊者は富士急ハイランドが入園無料&フリーパス付7,800円の特別プランも設定

富士急ハイランドのオフィシャルカプセルホテルならではの特典として、宿泊者は富士急ハイランドへの入園が無料となります。また、泊まりがけで富士急ハイランドを満喫したい人のために、フリーパスがセットになった特別プランも設定。通常5,700円のフリーパスがついて平日7,800円、休前日やハイシーズンも8,100~8,400円と大変お得です。さらに、このプランには、開園30分前に優先入園できる特典もついています。

フラッグシップ豪華バス

グランドブルーリゾート
GRAND BLEU RESORT
富士急行

平成29年5月6日（土）運行開始

このバスは、東日本旅客鉄道株式会社が平成29年5月より運行する、クルーズトレイン「TRAIN SUITE 四季島」の旅のなかで、毎週土曜日に運行される1泊2日コースにて、山梨観光の快適な旅を提供させて頂くほか、ゆったりとした上質な空間をお過ごし頂けるワンランク上の貸切バスとしてもご利用頂けます。

車両のメインボディカラーは、富士山の荘厳な山肌をイメージした、このバスのために作られた「蒼富士」色で彩られ、逆さ富士を表現したオリジナルのフロントマスクや、輪郭を縁取る日光をイメージした富士山のシルエットを後方に施すなど、他に類を見ない特徴的な造形となっております。



【概要】

1. 車両仕様

バスタイプ：日野自動車製、中二階
スーパーハイデッカータイプ
全長11.99m、幅2.49m、高さ3.75m
乗車定員：乗客36名+乗務員2名

2. 運行開始日

平成29年5月6日（土）

3. 運行日

11月までの毎週土曜日（運休日あり）

※「TRAIN SUITE 四季島」の山梨観光部分を担当。

※その他、貸切車両として運行。



車両リア部



車内



広々としたパウダールーム



「TRAIN SUITE 四季島」ロゴ入り
専用ヘッドカバー



フロントのエンブレム

さらなる加速、さらなる速さへの挑戦 “加速度世界一”コースター「ド・ドドンパ」

平成29年7月15日開業！



平成29年4月20日時点の「ド・ドドンパ」



旧ドドンパの「垂直タワー」



昨年10月より営業休止していた日本最速絶叫コースター「ドドンパ」において、さらなる加速、さらなる速さを目指し、「ド・ドドンパ」として平成29年7月15日(土)に開業いたします。

平成13年12月に、スタートからわずか1.8秒で時速172kmに到達するという、驚異の「加速力」と「スピード」を体感できるコースターとして登場した「ドドンパ」ですが、“もっと速さを極めたい”という想いから、現在世界記録を保持しているこの“世界一の加速力”を追求した結果、コース途中にあった高さ52mの“垂直タワー”のままでは、発射時の爆発的な加速力を受け止めきれなくなり、直径39.7mの“世界最大級のループ(※)”で受け止めるという形でコースを変更することにしました。なお、「ド・ドドンパ」は日本一のスピード、日本一の加速力、日本一のループ(直径)という、“3つの日本一”のエレメンツを装備したアトラクションとなります。「ド・ドドンパ」は、“天上知らずのスピードキング”と化し、驚異的なスピードを実現いたします。この夏、富士急ハイランドがお届けする、新たなエレメンツを備えた「ド・ドドンパ」にご期待ください。

※「シックスフレッジ・マジックマウンテン(アメリカカリフォルニア州)」のループコースター「フルスロットル」のループ直径38.75mがギネス世界記録に認定されています(平成29年4月現在)。

事業別概況（連結）

運輸事業

鉄道事業につきましては、4月に会社創立90周年事業の一環として、車内でドリンクの提供やスイーツが楽しめる新型特急「富士山ビュー特急」、9月に姉妹鉄道提携25周年を記念したマッターホルンゴッタルド鉄道のカラーリングを施した「マッターホルン号」の運行を開始したほか、7月にはJR東日本と連携し、毎週金曜日に新宿駅から河口湖駅までの直通列車「快速富士山」の運行を開始し、首都圏からのアクセス向上を図りました。また、駅のバリアフリー化やトイレのリニューアルなど利用環境を整備し、サービスの向上に努めました。

バス事業における乗合バス営業につきましては、4月に「鳴沢・精進湖・本栖湖周遊バス」の運行を開始し、増加する外国人を含めた観光客への富士五湖周遊の利便性を高めるとともに、5月にはバスに不慣れなお客様に対し、主要なバス停留所にバスの乗り案内看板を設置し、サービスの向上に努めました。

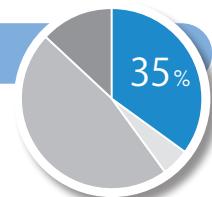
高速バス営業につきましては、4月の「バスタ新宿」の開業にあわせ、東京駅・渋谷駅から富士山方面を結ぶ路線の増便や経路を見直し、都心からの輸送力拡大とアクセスの向上を図りました。

貸切バス営業につきましては、国土交通省が定めた安全確保及び新運賃制度を遵守し、収益の確保に努めました。

ハイヤー・タクシー事業につきましては、グループ3社で自動配車システムを更新し、配車効率の向上を図りました。また、小グループの外国人観光客の増加にあわせ、富士五湖エリアに6人乗りの新型車両を導入し、営業の強化を図りました。

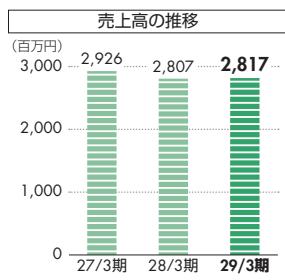
安全対策につきましては、運輸安全マネジメントに基づき、鉄道、索道、自動車、船舶の各事業で安全目標、重点施策を設定し、安全管理体制の強化、並びに安全意識の浸透を図り、安全性の確保に努めました。鉄道事業では、レールの重軌条化やコンクリート柱化、点字ブロックなどによる駅ホームの整備を実施し、安全対策を行いました。バス事業では、4月に富士河口湖町に自動車整備工場を新設し、作業の効率化を図るとともに、7月に運転データ集録システムを搭載した「教育訓練車」を導入し、運転技術の向上に努めました。

以上の結果、運輸事業の営業収益は187億76百万円（対前期103.0%）、営業利益は22億33百万円（対前期102.4%）となりました。



富士急行線「富士山ビュー特急」

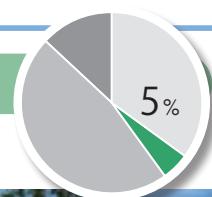
不動産事業



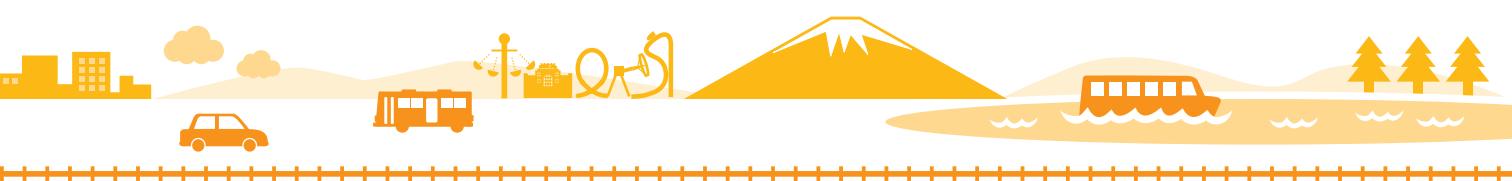
不動産販売事業につきましては、山中湖畔別荘地で趣味やこだわりを実現できる「コンセプト・ヴィラ」の販売に加え、人気の高い北欧デザインを取り入れた新築建売別荘「ScanDホーム山中湖 for Golf」と「ScanDホーム山中湖 for Outdoor」の2棟を供給するとともに、新たに高付加価値リフォームを施した「富士急リノヴィラ」を展開しました。さらに、会社創立90周年事業の一環として、山中湖畔別荘地内にある「堀内良平翁顕彰公園」を整備・拡張し、別荘地の価値向上を図るとともに、富士山麓ライフスタイル・マガジン「フジヤマスタイル」において、別荘開発や地域振興の歴史を紹介した特集記事を掲載し、認知度向上を図りました。

不動産賃貸事業につきましては、賃貸施設の新規貸付を積極的に行うなど安定的な収益の確保に努めました。

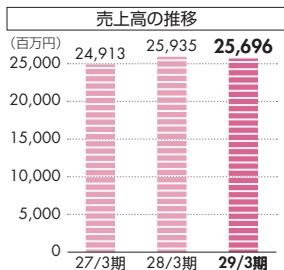
以上の結果、不動産事業の営業収益は28億17百万円（対前期100.4%）、営業利益は6億38百万円（対前期98.4%）となりました。



「くつろぎの森」(※イメージ)



レジャー・サービス事業



富士急ハイランド
「リサとガスパールタウン」

遊園地事業につきましては、7月に「富士急ハイランド」において操縦回転系絶叫アトラクション「テンテコマイ」をオープンするとともに、人気アトラクション「富士飛行社」をリニューアルし、集客に努めました。また、隣接するテーマパーク「リサとガスパールタウン」では、体験工房「リサとガスパールのアトリエ」、パリの街並みをイメージした憩いの広場「トウトモ広場」をオープンし、好評を博しました。

「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」では、7月にきりもみ旋回型アトラクション「極楽パイロット」や大型アスレチックフィールド「ターザンマニア」をオープンしました。また、10月に関東最大の600万球のイルミネーションの祭典「さがみ湖イルミリオン」を開催するとともに、リフトの輸送力を倍増し、園内移動の利便性向上を図りました。平成29年3月には相模湖を臨む丘の上に、アジア初の巨大クライミングアトラクション「マッスルモンスター」をオープンし、新たな客層の取り込みを図りました。

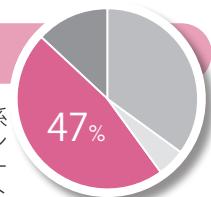
富士南麓の遊園地「Grinpa」では、7月に巨大水上アスレチック「カップ大作戦」をオープンし、ファミリー客に好評を博しました。また、隣接するゴルフ場跡地を活用し、「キャンピカ富士ぐりんぱ」の拡充や広大な花畑「富士 花めぐりの里」を開催しました。さらに、富士南麓二合目に位置する水ヶ塚公園内の「森の駅 富士山」をリニューアルオープンし、幅広い層のお客様の取り込みを図りました。スノータウン「Yeti」では、10月に屋外スキー場として18年連続で日本一早くオープンし、「Grinpa」も含め、エリア全体で外国人観光客などを中心に多くのお客様にご利用いただきました。

ホテル事業につきましては、メインバンケットやフロント・ロビーの全館リニューアルが完了した「ハイランドリゾート ホテル&スパ」を中心に、海外を含めた多くのご個人のお客様にご利用いただきました。「熱海シーサイド スパ&リゾート」では、客室のリニューアル効果により宿泊者が増加しました。

アウトドア事業につきましては、グランピング人気の高まりや「PICAP山の中湖ヴェレージ」の拡充により利用者が増加し、好調に推移しました。

その他のレジャー・サービス事業につきましては、富士本栖湖リゾートにおいて「2016富士芝桜まつり」を開催し、国内外から多くのお客様にご来場いただき、過去最高の収益となりました。

以上の結果、新規施設の開業などにより、外国人観光客や新たな客層の創出は図られたものの、夏季シーズンの天候不順などの影響もあり、レジャー・サービス事業の営業収益は256億96百万円（対前期99.1%）、営業利益は設備投資による固定経費の増加などもあり17億91百万円（対前期76.4%）となりました。

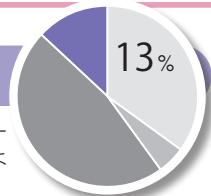


その他事業



富士ミネラルウォーター株式会社では、4月の富士吉田市の新工場「アクアワークス」の稼働開始による生産能力の向上と、非常用保存水の買い替え需要などにより、販売数が増加しました。富士急建設株式会社では、公共工事、民間工事とも受注減により減収となりました。

以上の結果、その他事業の営業収益は68億55百万円（対前期89.7%）、営業利益は2億34百万円（対前期75.6%）となりました。



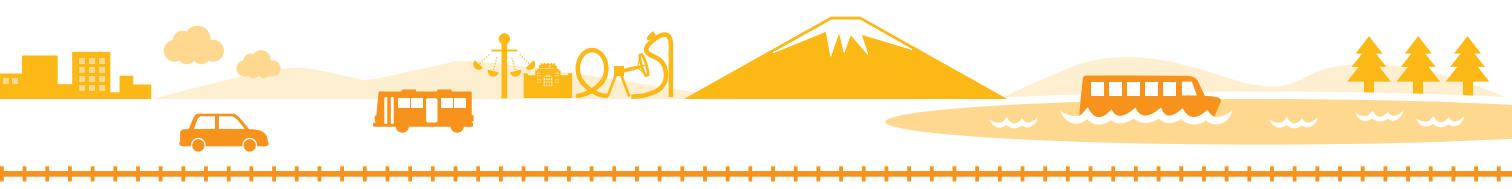
富士ミネラルウォーター

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別		科 目	期 別	
	当連結会計年度 (平成29年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成28年3月31日現在)		当連結会計年度 (平成29年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成28年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	21,394	22,877	流動負債	22,171	27,321
現金及び預金	7,364	9,392	支払手形及び買掛金	2,461	2,398
受取手形及び売掛金	2,988	2,669	短期借入金	12,940	17,325
たな卸資産	9,683	9,405	賞与引当金	488	472
その他	1,358	1,410	その他	6,280	7,123
固定資産	76,173	71,981	固定負債	50,154	44,908
有形固定資産	62,832	59,871	長期借入金	38,939	34,891
建物及び構築物	30,665	29,175	退職給付に係る負債	858	902
機械装置及び運搬具	7,263	5,846	その他	10,356	9,114
土地	15,692	15,534	負債合計	72,325	72,229
建設仮勘定	1,540	2,574	(純資産の部)		
その他	7,670	6,741	株主資本	22,800	20,881
無形固定資産	2,704	2,622	資本金	9,126	9,126
投資その他の資産	10,635	9,487	資本剰余金	3,480	3,429
投資有価証券	8,924	7,967	利益剰余金	11,709	9,819
退職給付に係る資産	484	177	自己株式	△1,514	△1,493
その他	1,226	1,342	その他の包括利益累計額	1,713	1,007
資産合計	97,567	94,859	その他有価証券評価差額金	1,444	820
			退職給付に係る調整累計額	269	186
			非支配株主持分	727	740
			純資産合計	25,242	22,629
			負債純資産合計	97,567	94,859



連結損益計算書 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	
	当連結会計年度 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)
営業収益	50,880	51,779
営業費	46,021	46,354
営業利益	4,859	5,425
営業外収益	294	263
営業外費用	749	890
経常利益	4,404	4,798
特別利益	685	1,115
特別損失	1,207	2,299
税金等調整前当期純利益	3,882	3,614
法人税、住民税及び事業税	1,107	1,633
法人税等調整額	94	△429
当期純利益	2,680	2,410
非支配株主に帰属する当期純利益	48	65
親会社株主に帰属する当期純利益	2,631	2,345

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	
	当連結会計年度 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,331	8,577
税金等調整前当期純利益	3,882	3,614
減価償却費	6,078	5,498
その他損益等調整額	737	1,569
資産・負債の増減額	△1,067	△550
小計	9,630	10,132
利息の支払額等	△2,298	△1,554
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,714	△6,965
有形及び無形固定資産の取得による支出	△7,178	△7,490
その他	463	524
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,644	△1,990
借入金の増減額	△337	△551
その他	△2,307	△1,438
現金及び現金同等物の増減額	△2,027	△378
現金及び現金同等物の期首残高	9,321	9,700
現金及び現金同等物の期末残高	7,293	9,321

連結株主資本等変動計算書 (平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

単位：百万円

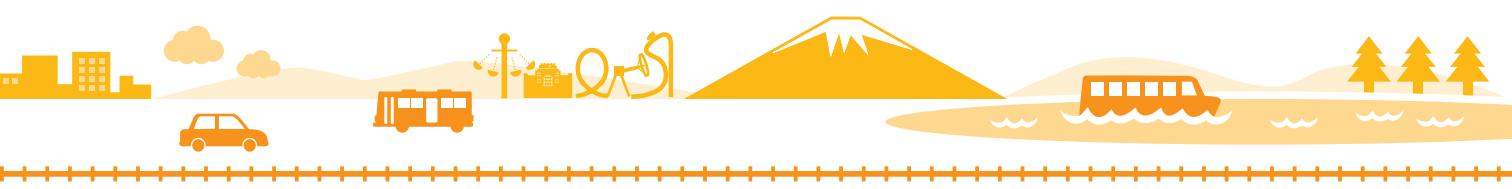
	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配 株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	9,126	3,429	9,819	△1,493	20,881	820	186	1,007	740	22,629
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△741		△741					△741
親会社株主に帰属する当期純利益			2,631		2,631					2,631
自己株式の取得				△21	△21					△21
連結子会社株式の取得による 持分の増減		50			50					50
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)						623	82	706	△12	693
連結会計年度中の変動額合計	—	50	1,889	△21	1,919	623	82	706	△12	2,612
当期末残高	9,126	3,480	11,709	△1,514	22,800	1,444	269	1,713	727	25,242

単独財務諸表

貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別		科 目	期 別	
	第116期 (平成29年3月31日現在)	第115期 (平成28年3月31日現在)		第116期 (平成29年3月31日現在)	第115期 (平成28年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	18,066	20,180	流動負債	19,702	24,675
現金及び預金	6,030	8,228	短期借入金	11,736	15,746
未収運賃	539	520	未払金	3,007	3,066
未収金	1,118	1,145	賞与引当金	85	65
たな卸資産	8,384	8,376	その他の流動負債	4,873	5,797
その他の流動資産	1,993	1,908	固定負債	44,156	40,044
固定資産	63,822	61,436	長期借入金	37,504	33,851
鉄道事業固定資産	4,330	4,147	預り保証金	3,683	3,667
自動車事業固定資産	3,998	3,647	その他の固定負債	2,967	2,526
観光事業固定資産	31,103	29,765	負債合計	63,858	64,720
土地建物事業固定資産	8,561	8,959	(純資産の部)		
各事業関連固定資産	1,950	1,871	株主資本	16,700	16,170
その他の固定資産	274	284	資本金	9,126	9,126
建設仮勘定	1,233	1,606	資本剰余金	3,400	3,400
投資その他の資産	12,370	11,153	利益剰余金	5,406	4,872
投資有価証券	9,270	8,402	自己株式	△1,232	△1,227
長期貸付金	2,545	2,167	評価・換算差額等	1,330	725
その他の投資等	625	597	その他有価証券評価差額金	1,330	725
貸倒引当金	△69	△14	純資産合計	18,030	16,896
資産合計	81,889	81,616	負債純資産合計	81,889	81,616



損益計算書 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別		科 目	期 別	
	第116期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)	第115期 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)		第116期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)	第115期 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)
鉄道事業			営業外収益	399	177
営業収益	1,888	1,787	営業外費用	768	832
営業費	1,685	1,594	経常利益	2,434	2,773
営業利益	203	193	特別利益	453	833
自動車事業			特別損失	1,079	2,152
営業収益	2,176	2,046	税引前当期純利益	1,809	1,454
営業費	1,690	1,517	法人税、住民税及び事業税	486	944
営業利益	486	529	法人税等調整額	41	△362
観光事業			当期純利益	1,281	872
営業収益	21,557	21,749			
営業費	19,862	19,467			
営業利益	1,695	2,282			
土地建物事業					
営業収益	1,927	1,865			
営業費	1,509	1,441			
営業利益	418	423			
全事業営業利益	2,803	3,428			

株主資本等変動計算書 (平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

単位：百万円

	株主資本								自己株式	株主資本 合計	評価・換算 差額等 その他 有価証券 評価差額金	純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			利益剰余金 合計				
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金					
当期首残高	9,126	2,398	1,001	3,400	1,959	219	2,692	4,872	△1,227	16,170	725	16,896
当期変動額												
剰余金の配当							△747	△747		△747		△747
当期純利益							1,281	1,281		1,281		1,281
自己株式の取得									△4	△4		△4
株主資本以外の項目の 当期の変動額 (純額)											604	604
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	534	534	△4	529	604	1,133
当期末残高	9,126	2,398	1,001	3,400	1,959	219	3,227	5,406	△1,232	16,700	1,330	18,030

会社概況／株式情報

会社概要 (平成29年3月31日現在)

- 商号 富士急行株式会社
FUJI KYUKO CO.,LTD.
- 所在地 本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号
- 設立 大正15(1926)年9月18日
- 資本金 91億2,634万円
- 代表者 代表取締役社長 堀内 光一郎
- 主要事業 鉄道事業、自動車運送事業、土地建物の売買・貸借・媒介その他各種不動産事業、旅館業・遊園地その他各種観光事業等

役員 (平成29年3月31日現在)

代表取締役社長	堀内 光一郎	取締役	鈴木 薫
代表取締役副社長	堀内 哲夫	取締役	小林 正幸
専務取締役	福重 隆一	取締役	堀田 和也
専務執行役員	宇野 郁夫	取締役	岡本 敏久
取締役	秋山 智史	取締役	芦澤 賢治
取締役	尾崎 護	取締役	小森 哲昌
取締役	久代 信次	取締役	廣瀬 訓治
取締役	佐藤 美樹	取締役	榎山 裕美
取締役	和田 一成	取締役	笠井 雅弘
取締役	勝 俣 收	取締役	笠古 毅
取締役	高部 久夫		

株式の状況 (平成29年3月31日現在)

■ 発行可能株式総数	331,695,000 株
■ 発行済株式の総数	109,769,477 株
■ 株主数	5,437 名

大株主 (平成29年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
公益財団法人堀内浩庵会	12,912	12.10
株式会社エフ・ジェイ	12,708	11.91
日本生命保険相互会社	10,633	9.96
富国生命保険相互会社	9,724	9.11
朝日生命保険相互会社	6,120	5.73
株式会社東京ドーム	3,052	2.86
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託スルガ銀行口 再信託受託者資産管理サービス 信託銀行株式会社	2,555	2.39
日野自動車株式会社	2,506	2.35
株式会社山梨中央銀行	2,473	2.32
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	2,170	2.03

(注1) 当社は自己株式3,023,977株保有しておりますが、上位10名の株主からは除外しております。

(注2) 持株比率は自己株式を控除して算出してあります。

(注3) 富国生命保険相互会社は、上記以外に当社の株式900千株を退職給付信託として信託設定しており、その議決権行使の指図権は富国生命保険相互会社が留保しております。なお、株主名簿上の名義は「日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・富国生命保険相互会社退職給付信託口)」であります。

(注4) みずほ信託銀行株式会社・退職給付信託 スルガ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社の持株数2,555千株は、スルガ銀行株式会社から、みずほ信託銀行株式会社に委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権はスルガ銀行株式会社が留保しております。

連結子会社の状況 (平成29年3月31日現在)

- ### 【運輸部門】
- 岳南電車(株)
 - 富士急行観光(株)
 - 富士急山梨バス(株)
 - 富士急シティバス(株)
 - 富士急静岡バス(株)
 - (株)フジエクスプレス
 - 富士急湘南バス(株)
 - 富士急オートサービス(株)

- (株)静岡ホールディング
- 富士急伊豆タクシー(株)
- 富士急山梨ハイヤー(株)
- (株)富士急マリリゾート

【レジャー・サービス部門】

- (株)富士急ハイランド
- (株)フジヤマリゾート
- 相模湖リゾート(株)

- ハイランドリゾート(株)
- (株)ホテル富士急
- 表富士観光(株)
- 富士急安達太良観光(株)
- 富士観光興業(株)
- 富士急トラベル(株)
- (株)ピカ

- ### 【不動産部門】
- (株)富士急リゾートアメニティ

【その他部門】

- (株)富士急百貨店
- 富士急建設(株)
- (株)レゾナント・システムズ
- 富士ミネラルウォーター(株)
- (株)富士急ビジネスサポート

その他8社

単元未満株式の買取・買増制度のご案内

【単元未満株式の買取請求・買増請求について】

当社の単元株式数は1,000株ですので、1,000株未満の単元未満株式は市場で売買取ることができません。お持ちの単元未満株式を当社が買い取るか（買取請求）、もしくは1単元である1,000株とするために、当社から単元未満株式を買い増す（買増請求）ことができます。

【お手続きについて】

- 証券会社に口座を開設されている株主様
 口座のある証券会社にお問い合わせください。
 ただし、株券電子化以前に株券が発行されていない単元未満株式（証券会社の口座に記録されているものを除きます）をお持ちであった場合には、株券電子化実施日時点で、単元未満株式は「特別口座」に記録されておりますので、下記の株主メモ記載の三菱UFJ信託銀行電話照会先にお問い合わせください。
- 証券会社に口座を開設されていない株主様
 単元未満株式は「特別口座」に記録されておりますので、下記の株主メモ記載の三菱UFJ信託銀行電話照会先にお問い合わせください。

【単元未満株式の買取・買増制度の概要】

買取制度

ご所有の単元未満株式を当社に買取するよう請求できる制度です。

買増制度

ご所有の単元未満株式を1単元（1,000株）の株式にするために必要な数の株式を買増すことを当社に請求できる制度です。



当社は1,000株以上ご所有の株主様に株主優待券を発行しております。株主優待については、次ページをご覧ください。

株主メモ（平成29年6月22日現在）

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel.0120-232-711（通話料無料）
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行う ※ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします。

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いさせていただきます。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待のご案内



電車・バス・観光施設 共通優待券



- 電車全線乗車 (1枚につき片道1名乗車)
- バス全線乗車 (1枚につき片道1名乗車)
- 富士急ハイランド (1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換)
- ぐりんぱ (1枚につき1名入園、5枚につきワンデークーポン1枚と引換)
- さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト (1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換)
- 忍野 しのびの里 (1枚につき1名入園)
- スノータウンYeti (5枚につき1日入場滑走券1枚と引換)
- あだたら高原スキー場 (5枚につきリフト1日券またはロープウェイ往復券1枚と引換)
- 初島アイランドリゾート (1枚につき1名入園)
- 天上山公園カチカチ山ロープウェイ (1枚につき1名乗車 (往復))
- 河口湖遊覧船・山中湖遊覧船・本栖湖遊覧船 (1枚につき1名乗船)
- 初島航路 (2枚につき1名乗船 (往復))
- フジヤマミュージアム (1枚につき1名入館)
- ふじやま温泉 (2枚につき大人1名入館、1枚につき小人1名入館)
- さがみ湖温泉 うるり (2枚につき大人1名入館、1枚につき小人1名入館)
- あだたら山 奥岳の湯 (1枚につき1名入館)

フリーパス引換券



- 遊園地フリーパス (富士急ハイランド・ぐりんぱ・さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト)
- スキー場一日券 (スノータウンYeti・あだたら高原スキー場)

高速バス乗車券



高速バス乗車券

※高速バスご利用について
高速バス乗車券は、「富士五湖～新宿線」「富士山五合目～新宿線」「甲府～新宿線」、「富士五湖～東京線」「富士宮～東京線」「富士～東京線」「沼津～東京線」「沼津～新宿・渋谷線」「三島～新宿・渋谷線」「河口湖～渋谷線」の富士急便に限りご利用いただけます。

電車・バス全線 優待バス



電車・バス全線優待バス
(表示された持参人1名)

ご優待の内容

枚数

35,000株以上

40枚

6枚

4枚

1枚

20,000株以上

40枚

5枚

4枚

10,000株以上

25枚

4枚

2枚

5,000株以上

15枚

3枚

1枚

3,000株以上

10枚

2枚

1,000株以上

7枚

1枚

長期保有特別優待券*



「ハイランドリゾート ホテル&スパ」「ホテルマウント富士」の指定するツインルーム室料100%またはホテル内レストラン利用料30%割引券
(3年に1度の発行となります。)

3枚

2枚

2枚

施設割引券

ご優待の内容	枚数	
ハイランドリゾート ホテル&スパ ホテルマウント富士	1枚につき1室室料20%または自社企画宿泊商品10%割引	
ホテルマウント富士 プール割引券	20%割引 (1枚につき4名まで)	
富士山ステーションホテル	1枚につき1室室料1,000円割引	2枚
富士宮富士急ホテル	1枚につき1室室料20%または自社企画宿泊商品10%割引	
キャンピング&ラウンジ ハイランドステーションイン	1枚につき1室室料20%割引	
富士急グループホテル 飲食割引券	レストラン・バー10%割引 (1枚につき4名まで)、「ホテルマウント富士」では、食事付入浴10%割引 (1枚につき4名まで)として利用可。	5枚
富士ゴルフコース	所定 プレー料金 から2,000円割引 (1枚につき4名まで)	1枚
大富士ゴルフ場	所定 プレー料金 から2,000円割引 (1枚につき4名まで)	
ふじやま温泉	入館料 平日大人1,000円 小人500円 土休日 大人1,300円 小人600円 (1枚につき4名まで)	
さがみ湖温泉 うるり	入館料 平日大人850円 小人400円 土休日 大人930円 小人450円 (1枚につき4名まで)	
あだたら山 奥岳の湯	入館料 平日、土休日とも大人500円 小人300円 (1枚につき4名まで)	2枚
忍野 しのびの里	食事処「雪月風花」5%割引 (1枚につき4名まで)	
PICA山中湖ヴィレッジ	コテージ1棟 (素泊り) 10%割引、レストラン [FUJIYAMA KITCHEN] 5%割引	
PICA富士吉田・PICA富士西湖・キャンピカ富士ぐりんぱ・パティントンペアカンパングラウンド	1枚につき1泊1室10%割引	
富士ミネラルウォーター	1枚につき20%割引 (1ケース以上)	1枚
富士急トラベル	パッケージ旅行代金の5%割引 (1枚につき4名まで)	2枚
富士急オートサービス	車検・点検・整備 工賃10%割引	1枚

● 株主優待券の発行時期及び有効期間

当社の株主優待は毎年3月31日及び9月30日現在で1,000株以上ご所有の、株主様のご所有株式数に応じてそれぞれ5月下旬、11月下旬に発行いたします。

	発行時期	有効期間
3月31日現在の株主様	5月末	11月30日まで
9月30日現在の株主様	11月末	翌年5月31日まで

注) 長期保有特別優待券の有効期間に限り、「1年間」といたします。

● 長期保有特別優待券について*

■ 長期保有特別優待券は過去3年間すべての基準日(3月31日、9月30日)の株主名簿において、対象となる株式数以上を継続して保有し、かつ株主番号または氏名・住所が継続して同一である株主様へ3年経過ごとに発行しております。**(3年に1度の発行となります。)**

相続による名義人の変更があった場合、また、継続保有されている株主様であっても基準日現在において、何らかの理由で同一の株主名簿上に対象株式数を保有していない場合は対象となりませんのでご注意ください。

■ 長期保有特別優待券は年末年始、ゴールデンウィーク、夏期ハイシーズン等ホテルが定めた日のご宿泊にはご利用いただけません。またレストラン利用料の割引額の上限は3万円といたします。

その他、ご利用方法については優待券の裏面をご覧ください。



富士急行株式会社

本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号

<http://www.fujikyū.co.jp/>



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。